

## 4. 地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針

### 1) 知立市の交通将来像

第6次知立市総合計画及び知立市都市計画マスタープランでは、知立駅周辺に文化・商業施設などの都市的機能を集約した都市的機能整備ゾーンに位置づけています。また、立地適正化計画では、知立駅周辺の中心市街地に都市機能誘導区域を設定し、広域的な交通結節点の特性を最大限に活用しながら、都市機能の立地により、賑わいと交流に満ちたまちづくりを行い、中心市街地や周辺の地域経済の活性化に向けたまちづくりの実現を目指しています。

このような中、知立駅周辺では、連続立体交差事業、土地区画整理事業及び都市計画道路整備事業を一体的に実施しており、知立駅付近連続立体交差事業は2023年度完成、知立駅周辺土地区画整理事業は2026年度完成に向け、交通とまちづくりが一体となった事業を進めています。

これらより、知立市が目指す将来都市構造の構築を支援する公共交通ネットワークの再編に向け、交通将来像は第6次総合計画における将来像の副題に掲げられる、「**安らぎ・にぎわう 住みよさを誇れるまち 知立**」と定めます。

そして、交通将来像の実現に向けては、知立駅周辺の中心市街地へのアクセス利便性の確保などの「まちづくりとの連携」、八橋かきつばた園や知立公園等を中心とした「観光振興との連携」、鉄道、路線バス、ミニバス及びタクシー等の「多様な公共交通の連携」、そして、市民や地域をはじめとした「地域公共交通に関わる全ての関係者による連携」を図ることで知立市における地域公共交通の活性化及び再生を推進します。

### 知立市の交通将来像

「安らぎ・にぎわう 住みよさを誇れるまち 知立」



## 2) 地域公共交通の基本方針

知立市における地域公共交通の課題及び知立市が目指す交通将来像を受け、以下に地域公共交通の基本方針を示します。

交通将来像に掲げた「安らぎ・にぎわう 住みよさを誇れるまち 知立」と基本方針の関係については、安全で利用しやすい公共交通サービスの充実により「安らぎ」を感じ、知立駅周辺へのアクセス利便性を強化することで「にぎわい」を創出します。そして、その結果として「住みよさを誇れるまち」の実現を目指すものとします。

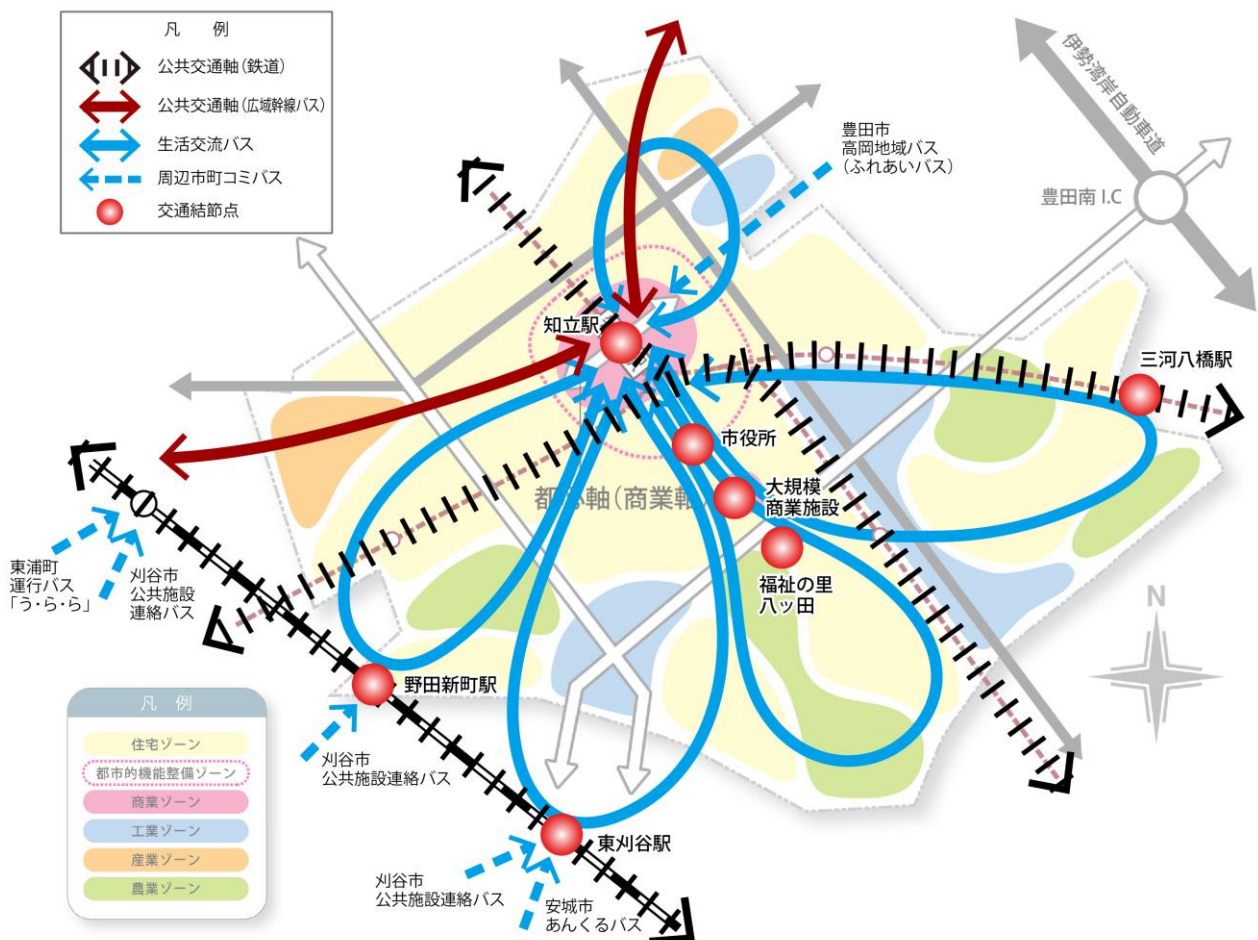
### 「安らぎ・にぎわう 住みよさを誇れるまち 知立」 の実現に向けて

**基本方針Ⅰ** 現行サービスの確保・維持を基本としつつ、安全で利用しやすい公共交通サービスを充実（課題①に対応）

**基本方針Ⅱ** 知立駅を中心とした利便性の高い公共交通ネットワークを形成し、市内各地域との連携を強化（課題①・②に対応）

**基本方針Ⅲ** 知立市の公共交通に関わる全ての関係者が連携・協働し、公共交通を支え育む仕組みを構築（課題①・②・③に対応）

図 知立市における地域公共交通体系のイメージ



## **基本方針Ⅰ 現行サービスの確保・維持を基本としつつ、安全で利用しやすい公共交通サービスを充実**

市内を運行する公共交通の乗車人員は、名鉄各駅、中部空港線・愛教大線及びミニバスの各路線とも、年度により若干の増減は有するものの、長期的な視点で見た場合、概ね横ばい傾向で推移しています。

これまで、市内ではきめ細かなバス停配置をはじめ、市外に隣接する鉄道駅へのアクセス確保など、多様化・広域化する市民等の移動ニーズに対応してきた結果、市内の公共交通による利用圏域（鉄道駅から1km、バス停から300m）は市街化区域の約97%をカバーし、バス利用者アンケートでは各バス路線の満足度は満足が不満を大きく上回っています。

このように、現在提供される公共交通のサービスは市民等の生活の足として定着していることが伺えますので、現行サービスの確保・維持を図ることを基本的な方針としつつ、個別のバスサービス項目において、不満割合の高い「バス停の待合環境」や「他のバスとの乗継時間」の改善など、安全で利用しやすい公共交通サービスを充実していきます。

## **基本方針Ⅱ 知立駅を中心とした利便性の高い公共交通ネットワークを形成し、市内各地域との連携を強化**

本市の公共交通は、東西に名鉄名古屋本線、南北に名鉄三河線が運行し、これら鉄道路線相互が交差する交通結節点として知立駅を存しています。

知立駅周辺では、連続立体交差事業や土地区画整理事業により知立駅の駅前広場の再整備が進められています。また、立地適正化計画では知立駅周辺に都市機能誘導区域を設定し、子育て支援施設や商業施設等の各種都市機能の立地・誘導を目指しています。

このように、知立駅周辺では、賑わいと交流に満ちたまちづくりと交通計画が一体となった整備が進められており、これらまちづくり計画の実現を支援するために、知立駅を中心とした公共交通ネットワークを形成し、市内各地域との連携を強化します。

また、市内には、八橋かきつばた園や知立公園、知立神社など、魅力的な観光施設を有しており、これら観光施設へのアクセスに配慮した公共交通ネットワークを形成することで、知立市の更なる魅力を創出します。

## **基本方針Ⅲ 知立市の公共交通に関わる全ての関係者が連携・協働し、公共交通を支え育む仕組みを構築**

本市の人口は、当面の間は緩やかな増加傾向が継続するものの、長期的には減少へと転じることや、少子高齢化が一層進展することが予測されています。このような人口動向の変化に伴う、公共交通の利用者数などの量的変化や利用目的などの質的变化などに対応する必要があります。

このように、公共交通の利用などの変化に的確に対応し、持続可能な交通手段として確保・維持するためには、交通事業者や知立市に加え、市民、地域（各種団体や企業を含む）等の地域公共交通に関わる全ての関係者が対等な立場で連携・協働することができる、公共交通を支え育む仕組みを構築します。